

# ふれあい

高知高須病院 院内誌

2022  
vol.105

特集

高知高須病院新築移転20年

- 「はるか」だより
- 第11回夜さこいナイター軟式野球大会
- コロナ禍でも前向きに活動を
- ニューフェイス紹介
- クラブ活動報告
- ご結婚・ご出産おめでとう



## ニューフェイス紹介

2022年5月1日～2022年8月31日

①趣味 ②病院の印象 ③自己PR ※部署別に掲載



透析室 看護助手  
門脇 美江  
かどわき みえ

①カラオケ、ドライブ  
②解放感があり太陽の光が入り明るく清潔感のあるきれいな印象を受けました。  
③前職と仕事内容も雰囲気も変わり一日も早く業務に慣れ笑顔が届けられるよう頑張ります。



透析室 介護福祉士  
山崎 香奈  
やまさき かな

①愛犬の散歩  
②とても広くて明るく、多くの患者さん1人1人に対して丁寧に対応しており、好印象でした。  
③笑顔が心がけコミュニケーションを大切に常に前向きに仕事に取り組んでいきたいです。



検査部 臨床検査技師  
岡崎 栞  
おかざき しおり

①3Dウッドパズルづくり  
②初めて同った時に親切に対応して頂き安心しました。院内に清潔感があり明るかったです。  
③今は韓国に興味があります。業務をスムーズに行えるよう頑張ります。



画像診断部 放射線技師  
濱田 達矢  
はまた たつや

①ゲーム  
②病院がとても大きく、明るく清潔があり良い雰囲気だと思いました。  
③まだまだ未熟者ですが精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



栄養部 管理栄養士  
藤戸 茜  
ふじと あかね

①アクセサリ作り  
②院内が広く清潔に保たれており、患者さんが通いやすい雰囲気だと感じました。  
③患者さんの健康サポートができるように、一生懸命頑張りたいと思います。



保育 保育士  
大西 美奈  
おにし みな

①旅行、コンサートへ行くこと  
②病院内が明るく清潔でスタッフの方も親切だと感じました。  
③保護者の方が安心してお子様を預けることができるよう、頑張っていきたいです。



介護付有料老人ホームはるか 看護師  
辛島 加恵  
からしま かい

①家庭菜園、ラージボール卓球  
②院内は清潔感があり、職員の方々の対応も丁寧で安心できる雰囲気でした。  
③早く仕事を覚えるよう努力したいと思います。よろしくお願いします。



介護付有料老人ホームはるか 看護師  
南 聖子  
みなみ せいこ

①ビデオ鑑賞、山歩き  
②いき届いているといった印象です。  
③がんばります。よろしくお願いします。



介護付有料老人ホームはるか 介護福祉士  
渡辺 潤也  
わたなべ じゅんや

①ドライブ  
②清潔で開放的な施設・丁寧で親近感を感じる対応で素敵な病院だと感じました。  
③病院の印象に合う職員になれる様が楽しみです。



介護付有料老人ホームはるか 介護福祉士  
渡辺 潤也  
わたなべ じゅんや



[尚腎会 2022年7月の診療実績]

●外来患者数/3,357人 ●紹介患者率/15.7% ●新入院患者数/93人 ●退院患者数/111人 ●平均在院日数/14.6日 ●病床利用率/71.0%

## クラブ活動報告 大会成績

ゴルフ部

【第43回 TEAMきずな杯】

■日時/2022年7月9日(土)  
■場所/Kochi黒潮カントリークラブ(黒潮コース)

優勝 十河 清(ゲスト)

準優勝 湯浅 仁(ゲスト)  
3位 寺尾 美智(副理事長)  
4位 中野 知夏(ゲスト)  
5位 濱岡 嘉一(ゲスト)



※撮影時のみマスクを外しております。

## ご結婚おめでとう

リハビリテーション部  
北村 翔太(きたむらしょうた)さん  
2022年6月5日入籍

病棟  
宮崎 遥(みやざきはるか)さん  
旧姓/黒岩(くろいわ)  
2022年7月2日入籍

## ご出産おめでとう



リハビリテーション部  
古良 明日香(きらあすか)  
2022年4月10日生まれ  
来采(こと)ちゃん



透析室  
井上 亜美(いのうえあみ)  
2022年7月14日生まれ  
湊裕(そうすけ)くん

■院内誌「ふれあい」vol.105 ■発行日/2022年9月25日  
■発行所/高知高須病院 高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377  
■http://www.takasuhp.or.jp ■発行人/池辺弥夏 ■編集/広報委員会  
■印刷所/(有)三宮印刷 高知市潮新町2-14-8



右記のQRコードより、高知高須病院の携帯サイトに簡単アクセス!





### 新築移転 20年の歩み

2002年6月、高知高須病院は高須から現在の天津に新築移転しました。この間、5階・6階部分の増築や手術支援ロボットダヴィンチの導入など、高知高須病院は発展、進化を続けてきました。



1階ロビー

外来前



例えば、外壁の1、2階部分はインド砂岩でできており、柔らかく、温かい雰囲気を出している。またホテルのような1階ロビーは、カーテン、家具類など、寺尾美智副理事長があつらえたものである。

#### 2002年6月 新病院 天津へ移転

高知市天津に当時、日本でもトップクラスの免震構造をもつ新しい病院が完成、高須にあった高知高須病院(本院)と南診療所を併合し移転した。新病院のコンセプトは「ゆとり」、「やすらぎ」、そして「安全」。また、「病院らしくない建物」にもこだわった。

#### 2002年9月 第1回 糖尿病教室開催

新病院移転と同時に始まった糖尿病外来。糖尿病専門医・末廣正先生の指導の下、糖尿病チームが直ちに組織された。第1回糖尿病教室が開催されたのは、なんとその3カ月後。当時から医師、看護師だけでなく、管理栄養士ら多職種が関わり、チーム医療を実践している。



糖尿病教室(写真は2003年8月開催時)

#### 20年の歩み

|  |   |  |                   |   |  |                   |  |
|--|---|--|-------------------|---|--|-------------------|--|
| 2011<br>(平成23年)                                  | 2010<br>(平成22年)                           | 2009<br>(平成21年)  | 2007<br>(平成19年)   | 2006<br>(平成18年)                                     | 2004<br>(平成16年)  | 2003<br>(平成15年)   | 2002<br>(平成14年)                                |
| 4月1日<br>介護付有料老人ホームはるか開設<br>10月<br>第1回ふれあい高須まつり開催 | 3月<br>保育室改修工事完了<br>11月<br>5階透析室(透析室3)稼働開始 | 3月<br>日本医療機能評価機能による<br>病院機能評価 Ver5.0 認定<br>5月<br>電子カルテシステム更新デバイスエクリュ<br>9月<br>物流管理システム(SPD)導入<br>10月<br>増築工事着工<br>電子カルテ全面稼働、PACS導入 | 7月<br>マルチスライスCT導入 | 2月<br>地域医療連携室設置<br>11月<br>泌尿器科内視鏡手術用<br>ホルミウムレーザー導入 | 1月<br>医療安全管理室設置<br>3月<br>日本医療機能評価機能による<br>病院機能評価 Ver4.0 認定 | 1月<br>第1回そらまめ教室開催 | 6月1日<br>高知高須病院 高須から天津へ新築移転<br>9月<br>第1回糖尿病教室開催 |

### 特集

## 高知高須病院新築移転20年



医療法人尚腎会  
高知高須病院 会長  
寺尾 尚民  
(てらお なおたみ)

### 本院新築移転は尚腎会発展の 更なる原動力になりました

本院の新築移転なくして尚腎会の発展はなかつたでしょう

新病院のハード面、構造上のポイントには内外の広さと強固さの確保です。より良い医療実践への空間と安全性の環境作りです。具体的には以下のとおり。

① 広くゆつたりした空間は患者さんの安らぎを。職員にも明るさ、動き易さを。外観、内外装のデザイン、配色等々にも十分な配慮を。手術室は2室へ増。廊下幅は病院規定以上の広さを確保。入院患者さんは外来待合室等を通らない専用廊下にて放射線室や尿路結石体外衝撃波破碎治療室へ。透析ベッド間隔も広めに。最新の医療機器類導入等のスペースを確保。

② 大震災マグニチュード8.6クラスにも対応可能な免震構造の採用。当時、国内では免震構造を備えた病院は数少ない。

③ 更に重要なことですが、当法人の医療方針は、腎泌尿器科関連医療の充実です。県東部は不十分な状況にあります。この環境を鑑み計画的に県東部地区に腎泌尿器科疾患対策を実施、1981年附属安芸診療所、2000年室戸クリニックを開設。結果、県東部全体にわたり大きな恩恵をもたらすことが出来たと信じています。具体的には泌尿器科疾患及び透析患者さんの治療の実施並びに通院の利便性の飛躍的な向上です。

#### 今後に向けて

本院を尚腎会の母艦の役割とすれば安芸診療所及び室戸クリニックは護衛艦の役目を確りと果たして頂いていると深く感謝致します。さらに開院以来48年間に遭遇した難局対応の一部を振り返ってみましょう。1998年9月には100年に一度と言われた集中豪雨で旧本院は床上浸水50cm!スタッフ一同の団結した力強い対応力が発揮されました。また直近では新型コロナウイルス対策の難局にも前者と同様に尚腎会ファミリーの行動力が発揮され、素晴らしく強い互助精神がみられました。今後も尚腎会ファミリーとしての団結力ある発展を祈念致します。



医療法人尚腎会  
高知高須病院 理事長  
池辺 弥夏  
(いけべ みか)

### 本院移転20周年に寄せて

もう20年、あちこちメンテナンスは重ねていますが、外来フロアロビーなどは広々と設計されているためか、あまり古さは感じさせません(と自負しています)。

当時先進の免震構造を備えたり、廊下や病室の広さの確保、外壁の砂岩を選ぶためにわざわざ県外へ見に行ったり...。中も外も会長の思いが随所に込められていると思います。

立地も、当時は田んぼだらけの中だったと思いますが、今や幸いなことに東部自動車道の整備とともに東部地区や高速道路へのアクセスもさらに良くなっています。

これからも尚腎会の母艦を充実させつつ、よりよい医療を提供できるように頑張っていきたいと思えます。



# はるか だより

## 夏の思い出 少しでも涼を ～ はるかの月行事をお伝えします ～

はるか 介護福祉士  
山本 真由美  
(やまとまゆみ)

猛暑が続いた夏。少しでも涼を感じて頂きたく準備させて頂いたのは、「子育てゆうれい」と「おぼけやしき」の紙芝居2点です。

「子育てゆうれい」は亡くなってからも我が子を思い、毎夜、飴屋へと飴を買いに行くという切ない母親の幽霊のお話です。「おぼけやしき」は人使いの荒い屋敷の主人が、お化け屋敷に引っ越した事から、人ではなくお化け達に用事を頼んでいくという、怖いような、なんだか頼もしいお話です。ホールにはたくさんの方が集合されていましたが、紙芝居が始まるとシーンと静まり返りお話に聞き入っていました。



その後は、スイカ割りとはいきませんでしたが、おやつにスイカを提供させていただきました。「冷たくて気持ちが良いね」「甘くておいしいね」とのお声をたくさんいただきました。

中には、「スイカで子供の頃の出来事を思い出した」と当時のお祭りの話など聞かせてくれた入居者様もおられました。

短い梅雨が明けたと思ったら、何故か雨が多く猛暑が続いたように、コロナ第7波が猛威を振るい体調管理が難しいなか、暑い夏を乗り切りました。



## 新築移転 20年の歩み



大津へ移転当時、5階・6階はありませんでした



増改築工事後の高知高須病院

**2009年9月  
増改築工事着工**  
もともと4階建てだった高知高須病院に5階・6階部分を増築。2010年11月に5階透析室が稼働開始、2011年4月には6階に『介護付有料老人ホームはるか』が開設された。  
また、併せて保育室の改修工事も実施。保育室が広くなり、子供たちがのびのびと過ごせる環境になった。



介護付有料老人ホーム はるか 元気いっぱい「あいうべ体操」の様子

## 第11回 夜さこいナイター 軟式野球大会 壮年の部1回戦



|            |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
|            | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
| 高知高須病院(壮年) | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ZERO(壮年)   | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | × | 7 |

### 40歳以上の選手だけで結成した壮年チーム。 ミドルガイ達が老骨に鞭打って戦ってきました!

医療安全管理室 室長代理  
中城 応輔(なかじょう おうすけ)

今年もまた夜さこいナイター軟式野球大会壮年の部(40歳以上)に参加しました。試合結果をお知らせ致します。

0対2とリードされ迎えた4回表、ノーアウト満塁のチャンスで6番近森部長がライト前ヒットを打ち同点に追いつきました。しかしベンチ入りした大田院長が来られると緊張からか一気に点を取られ2対7に。

最終回、何とか一矢報いたい高須ダイアライザーは先頭打者の大西(透析室介護士)が執念の

振り逃げで出塁。続く代打中川(臨床工学技士)は三振に倒れ1アウトランナー1塁。ここで9番伊野部先生が繋げば、ネクストバッターサークルで気合の素振りをする大田院長の出番。御膳立ては完璧にできあがっていました。

その結果は..相手投手のストレートをはじき返すと運悪くショート正面に転がり6-4-3のダブルプレー。大田院長は打席に立つことなくゲームセットとなってしまいました。

## 2015年9月 ダビンチSi導入



手術支援ロボットダビンチSiを使用しした腹腔鏡手術を開始。その後症例を重ね、前年度末までに200件を超えるダビンチ手術を実施している。  
2018年12月にはダビンチXiに更新。手術手技の向上、手術時間の短縮効果など、さらに優れた低侵襲手術を提供できるようになった。

| 2020 (令和2年)      | 2019 (令和元年)                  | 2019 (平成31年)   | 2018 (平成30年)                        | 2016 (平成28年)               | 2015 (平成27年)        | 2014 (平成26年)                        |
|------------------|------------------------------|----------------|-------------------------------------|----------------------------|---------------------|-------------------------------------|
| 11月 シヤントエコー室運用開始 | 4月 寺尾尚民理事長退任し会長に就任、池辺弥夏理事長就任 | 10月 遠隔読影システム導入 | 6月 日本医療機能評価機能による病院機能評価3rdG:Ver2.0認定 | 2月 前立腺癌超音波画像診断装置導入         | 12月 外来診療予約センター設置    | 3月 日本医療機能評価機能による病院機能評価3rdG:Ver1.0認定 |
|                  |                              |                | 12月 手術支援ロボットダビンチSiからダビンチXiへ更新       | 7月 透析支援システム導入              | 9月 手術支援ロボットダビンチSi導入 | 10月 訪問看護ステーションたかす開設                 |
|                  |                              |                |                                     | 2月 電子カルテシステム更新(SI NewtonJ) | 4月 大田和道院長就任         | 10月 病棟の部を地域包括ケア病床に変更                |
|                  |                              |                |                                     |                            | 12月 ショートステイはるか開設    | 10月 二次救急告示病院認定                      |



# コロナ禍でも 前向きに活動を



～ 学術大会などオンラインで開催 ～

## 第12回 高知県臨床工学会を開催しました！ ～ 県内外から128人の参加 ～

臨床工学部 課長 仙頭 正人(せんとう まさと)



### CEニューノーマル時代

2022年6月12日(日)に、第12回高知県臨床工学会を「CEニューノーマル時代」をメインテーマにオンライン開催しました。

この学術大会は、(社)高知県臨床工学会が毎年開催しているもので、今回初めて大会長を務めさせていただきました。

テーマに掲げましたニューノーマル(新しい常態)という点ですが、テクノロジーの進化

や社会環境の変化などから、皆さんも実感している所ではないでしょうか。

プログラムは、「タスクシフト・シェア」・「CE比率80%超の透析業務体制」・「透

析治療へのAI活用」・「一般演題」・「DX推進時代におけるCE」・「各部門でのニューノーマル」といった内容で構成し、各分野の第一線でご活躍中の先生方にご講演いただきました。

結果として、県内外から128人の参加があり、これからの時代に求められる能力や働き方を考察する有意義な大会となりました。

また、本大会の開催にあたり、多くの方々にご支援・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。



2020年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、セミナーや学会などのオンライン開催が大変多くなりました。当院でも「自粛、自粛とネガティブな方向にいくのではなく、前向きに活動していこう」という思いから、オンラインによる活動を拡げています。今回はそのような取り組みを紹介致します。

## 第1回 CKD情報交換会を開催して ～ WEBによるZOOM開催 ～

地域医療連携室室長 看護師 三好 可奈(みよし かな)



### 腎代替療法の選択 チームで支援

2022年6月29日(水)、慢性腎臓病重症化予防、腎代替療法への取り組みとして、CKD情報交換会を開催しました。(以前、2009年から4年間開催)。

今回、改めて当院の取り組みを知っていただくことを目的とし、チームで取り組んでいる腎代替療法にターゲットを絞り、ご紹介を受けた患者さんの経過を報告しました。

内容：①2021年腎臓内科への紹介集計(予約センター看護師)、②「当院での腎代替療法取り組みについて」(外来看護師)、③症例報告(2例)(医師、管理栄養士、外来看護師、ソーシャルワーカー)。申込者36人、参加者34人(外部医師、ソーシャルワーカーおよび院内職員)。

アンケート集計：内容に関する評価は、大変良かった61.1%・良かった38.9%と好評価を頂きました。また感想として「療法選択の場面だけでなく、外来での関わりを情報共有して、継続的な関わりで患者さんの支援ができると思いました。」「症例報告は透析導入前からの経過が分かりやすく患者の心理面やスタッフとのかかわりも良くわかりました」、「患者さんを点ではなく線で捉え、プロセスを変更しながら関わり、患者さんに寄り添われています」などのコメントを頂きました。

来年、2回目開催時には、広報方法を検討し、参加者増を目指したいと思います。

